

# イノベーション交流会 実証活動報告

## AI 及び音声共有アプリを活用したコミュニケーション効率化

### ■ 高速道路運営・保全管理上の課題

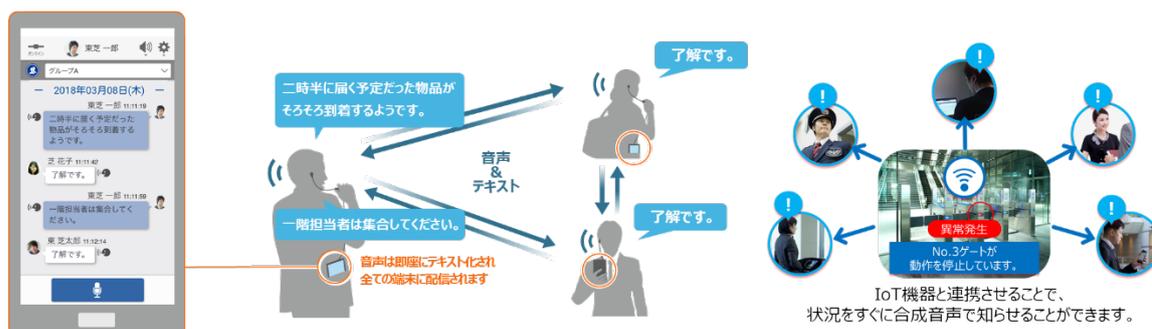
料金所の巡回班は、定時通行又は緊急時の料金所からの連絡により運行するが、料金所が最小人数の場合、常に状況を把握することができない。また、事故やトラブルにおいてトランシーバー等で連絡した際に、聞き逃した場合のフォローができない。

### ■ 実証技術の概要

東芝のコミュニケーション AI RECAIUS(リカイアス)のラインナップの一つである、スマホ IP 無線「RECAIUS フィールドボイスインカム」を運用することで、本ソリューションが有する「音声 AI 変換テキスト機能」「音声と AI 変換テキストの振り返り機能」により、高速道路事業における「聞き返し・繰り返しの抑制」「業務の振り返り」といった課題に対する有効性を検証する。

#### □ 主要機能

- ◆ 音声入力した内容を音声とテキストでグループへ一斉配信が出来ます
- ◆ 発話内容は聞き逃しても、後からテキストと音声で確認することが出来ます
- ◆ 機器連携により、センサー情報をテキストと合成音声で配信出来ます (IoT連携)



# イノベーション交流会 実証活動報告

## ■ 現場実証の結果

- ・スマホ IP 無線について、音声の振り返り機能(テキスト化)では発話者や発話日時、発話内容を後から確認できることによる聞き逃し時の有効性を確認した。
- ・テキスト変換機能には、一部誤変換があったが、辞書登録を行うことにより、変換精度が向上することを確認した。
- ・音声テキスト変換機能は確認が行えたことにより、報告書への転記が技術的に可能であり、業務効率化の可能性は確認できた。

## ■ まとめ

発話内容の聞き逃しなどによって、トラブル時等に対応が遅延する可能性があるため、音声同時テキスト化は有効であり、現場コミュニケーションの円滑化に期待できる。

## ■ 今後の取組み予定

- ・実環境での検証を通じて利用方法の確立を図る。
- ・今回実証した料金收受業務以外にも、手が離せない点検業務や維持作業、逐一状況を把握・共有する交通管理業務などその他の業務への適用を検討する。

## ■ 先進技術保有企業

東芝デジタルソリューションズ株式会社

## ■ 実証に関する問合せ窓口

保全企画本部 i-MOVEMENT 推進室  
(イノベーション交流会 事務局運営)